

よ 読んでみない？

～あたらしくはいった本～

えほん

『あやしいぶたのたね』 佐々木マキノ／作 絵本館

はしるのがぶたよりおそい おおかみは、いちどでいいからぶたのまるやきを たべてみたい！と おもっていました。「ぶたの**実**」が なるという「ぶたのたね」を もらって うえてみると……！？



『おつきさまひとつずつ』 長野ヒデ子／作 童心社

あこちゃんが おかあさんと あるいていると、おおきな まんげつが ずっと ついてきました。しんぱいになった あこちゃんは おかあさんに たずねます。「なんきょくや アフリカにも おつきさまは あるの？」

ものがたり

『犬がすきなぼくと おじさんと シロ』

山本悦子／作 しんや ゆう子／絵 岩崎書店

ぼくも 友だちみたいに 犬が飼いたい！ そんなぼくの 前にシロという犬が あらわれた。シロは川の土手にすんでいるホームレスの人の犬だった。



『ハヤクさん一家と かしこいねこ』

マイケル・ローゼン／作 トニー・ロス／絵 徳間書店

いつも 早く早くと あわてている ハヤクさんちの おとうさんと おかあさん。けさは ねぼうして とくべつ 犬あわてで 出かけました。でも、たいへん！ むすこの ハリーが おいてけぼり。

『ほうさんちゅう』 かんちく たかこ／文 アリス館

「・」よりずっとずっとちいさい海の生きもの、ほうさんちゅうのほね。 たくさんのがあが空いていて、とうめいで、つのがぴんぴんとたっている。 ふしぎなたち、みてみてね。 ※『たくさんのはしぎ』2019年6月号

『桂藻美術館』にも、ふしぎできれいなほうさんちゅうがたくさんっています。



えいげんじとしゃかん 東近江のお米を食べよう

お米はどんなふうにできるのかな？ お話を聞いて、新米を食べくらべてみます。

11月16日(土) 10:30~12:00

定員：小学生以上15組

※申し込みが必要です

